



行動規範



あなたのために
AIGは何が
できるのか。
原点に立ち返り、
もう一度
考え直して、
新たな可能性を
掘り起こす。

AIGのバリュー（価値観）
とそれを実現するための
ふるまい（行動指針）：

● **自分事化する**

- ・ **期待値**を明確にしよう
- ・ **自発的**に行動しよう
- ・ 当事者意識を持って、自ら進んで **責任を引き受けよう**

● **基準を設定する**

- ・ 常に **高いクオリティ**を届けよう
- ・ **お客さま本位**を徹底しよう
- ・ 保険業界を **けん引**しよう

● **一緒に勝利する**

- ・ 手を携えることでもっと強くなろう
- ・ 足並みを揃えよう
- ・ **ワンチーム**になろう

● **味方になる**

- ・ **インクルージョン（認め合うこと）**を常に意識しよう
- ・ **傾聴して学ぼう**
- ・ **有言実行**しよう

● **正しい行いをする**

- ・ **誠実・高潔な行動**を心がけよう
- ・ **行動で模範**を示そう
- ・ **地域社会**に貢献しよう

目次

CEOからのメッセージ	4	株主に対するコミットメント	28
チーフコンプライアンスオフィサーからのメッセージ	4	財務および税務報告	29
私たちのコミットメントの実行	5	正確な業務記録	29
行動規範が定められている理由	6	文書の保存	29
行動規範の適用対象	6	AIGの資産の保護	30
社員の責任	7	建物・什器・備品等	30
管理職者としての責任	7	個人のセキュリティ	30
質問や懸念	8	出張時のセキュリティ	30
報復の禁止	10	知的財産	30
是正処置	10	専有情報/企業秘密/機密情報	31
適用除外	10	資金	31
同僚に対するコミットメント	12	AIGテクノロジーリソース	32
ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン	13	企業市民としてのコミットメント	34
同僚への敬意	13	環境保全とビジネスの両立	35
人権の尊重	13	グローバル・コーポレート・シチズンシップ	35
ハラスメントや嫌がらせのない職場環境	14	政治活動	36
安心して働ける、安全で健全な職場環境	14	証券取引	36
アルコールや薬物の使用	14	マネー・ローンダリングの防止	37
社員のプライバシー	15	経済制裁、反ボイコット法および輸出規制に関する法律	37
業務遂行におけるコミットメント	18	社外とのコミュニケーション	38
顧客のプライバシーと情報セキュリティ	19	監督当局および官公庁職員とのコミュニケーション	38
利益相反	20	ソーシャルメディア	38
AIGのビジネスチャンス	20	官公庁との取引	38
私的な関係	20	不正慣行および賄賂の禁止	39
社外活動	20		
贈答品および接待	21		
官公庁の職員への贈答品および接待	22		
ビジネスパートナーとの関係	23		
サプライヤーの多様性	23		
公正な取引	24		
独占禁止と公正な競争	25		
競合他社についての情報	26		

この行動規範において「AIG」とは、アメリカン・インターナショナル・グループ・インクおよび世界各地のその子会社を指します。ビジネスユニットや事業を行っている国において、この行動規範で定めるルールよりも厳しい別のルールが存在する場合があります。これらのルールは、そうしたビジネスユニットや事業を行っている国のAIGの社員に対して、さらなる責任を課すことがあります。この行動規範と現地の法律との間に矛盾が生じる可能性がある場合は、コンプライアンスオフィサーに相談してください。

会長兼CEOからのメッセージ



社員の皆さんへ

AIGにおいて、あらゆる業務の中核となっているのは、高い倫理観を持って誠実に働くということです。だからこそ、当社の行動規範は非常に重要なのです。常に正しく行動すること、そして社員が安心して懸念事項を提起できる環境を維持することは、ステークホルダーの信頼を獲得・維持する上で何よりも重視する必要があります。

AIGの存在意義と価値観の声明は、私たちが1つの企業として、そして一個人としてどのように振る舞うべきかの指針となります。この声明は、あなたのためにAIGは何ができるのか、原点に立ち返り、もう一度考え直して新たな可能性を掘り起こすことを中心としています。当社の価値観（共に成功を収める、自分ごととしてとらえる、模範となる、常に正しい行いを心がける、よきアライ（理解者）になる）は、AIGで勤務する際の期待値を明確に設定し、変化に対応し長期的な成功を収めるために必要な行動を奨励するものです。

AIG行動規範には、全社員に適用されるスタンダードとポリシーの概要が記載されています。私たちが他の社員、顧客、販売パートナー、規制当局、その他のステークホルダーと連携する際に、どのように行動するべきかのガイドラインとして活用できます。この行動規範を参照し、皆さん自身の卓越した判断力と意思決定を発揮して、正しい行動と判断を行ってください。

未来のAIGを創造するために努力する中で、価値観および最高水準の倫理と誠実性を維持できるように、皆さんには日頃からご尽力いただいております。感謝申し上げます。

Peter Zaffino
会長兼CEO

グローバルチーフコンプライアンスオフィサーからのメッセージ



社員の皆さんへ

AIG行動規範には、社員一人ひとりが日常の活動に従事する際に念頭におくべきルールとガイドラインがまとめられています。

本行動規範は、AIGの存在意義と価値観を反映し、企業として私たちが従うべき法律と規制をまとめています。これらの基準に準拠することで、私たちは、AIGの透明性に対する評判を維持し、倫理と誠実さの文化を育みます。

この行動規範は、皆さんが正しい行いをするための一助となることを目的としています。多くの状況においてガイダンスを提供していますが、すべてを網羅する資料ではありません。個別の状況、ビジネス、または企業グループについて不明な点がある場合は、皆さんの上司、人事部、またはコンプライアンスオフィサーに

連絡して質問してください。また、この行動規範で述べられている原則に違反するような事象に気づいた場合は、率直に発言してください。

AIGの卓越した堅実な文化を維持し、AIGの行動規範を遵守することに、引き続き努力いただいていることに感謝します。私たちの取り組みによって信頼が生まれ、顧客、販売パートナー、規制当局、その他のステークホルダーは、AIGの強みと信頼性を確信するのです。

Karen J. Nelson
シニアバイスプレジデント
グローバルチーフコンプライアンスオフィサー

コミットメントの 実行

当社はその商品やサービスに責任を持つことを約束しており、この約束をAIGの事業の中核に据えています。個人そして組織レベルでの誠実さが、この約束を実行し評判を守るうえで必要不可欠です。

コミットメントの実行は、社員、顧客、販売パートナーやその他のビジネスパートナー、規制当局、株主、および我々が暮らし事業を行う地域社会にとっても極めて重要です。

コミットメントの実行

行動規範が定められている理由

AIG行動規範（以下、「行動規範」）は、AIG全体が事業を行ううえでの倫理指針です。行動規範は、AIGのすべての役職員がその行動の拠り所とするものです。しかし、この行動規範は、起こりうるすべての問題について述べているわけではありません。適切な判断に迷った場合は、その指針や拠り所としてこの行動規範を参照して下さい。加えて、関連する規則やポリシーを含むその他の情報は、この行動規範に記載されたリンクおよびコーポレートポリシーにも記載されています。

この行動規範は、以下の各グループに対するコミットメントについてまとめられています。

- AIGの社員は、社員相互の尊重と尊敬の念をもって接することが求められています。
- 顧客、販売パートナーやビジネスパートナーは、私たちが誠実に行動することを期待しています。
- 規制当局は、私たちが透明性を保つこと、そして誠実さを持って行動することを求めています。
- 株主は、私たちが責任を果たすことを期待しています。
- 地域社会は、私たち一人ひとりが責任ある企業市民となることを期待しています。

行動規範の適用対象

行動規範は、AIGのすべての役職員に適用されます。代理店やコンサルタントなど特定のAIGビジネスパートナーも、一般の人々に対してAIGを代表しており、AIGを代理して業務を行う場合には、この行動規範の趣旨、ならびにAIG第三者行動規範、AIGサプライヤー行動規範、および契約上の義務の適用規定に従うことが求められます。

AIGは大きな組織ですが、全社員が一丸となって責務を確実に実行していきます。社員の一人ひとりが、信頼を築いて維持していく責任を負っています。

行動規範の最新版は、AIGの[コーポレートガバナンス](#)のウェブサイトから入手できます。この行動規範は随時改定される可能性があり、そのような改定は掲載された時点で直ちに有効となります。



コミットメントの実行

社員の責任

私たちがコミットメントを実現することで、私たちのビジネスは現在および将来において成功し、成長し続けます。社員一人ひとりには次のように行動をすることが求められています。

- この行動規範、AIGのポリシー、適用される法律や規制を理解し、それに従って行動します。
- 何か不明なことがある場合は、管理職者、コンプライアンスオフィサー、法務部門に相談します。
- この行動規範、AIGのポリシー、または適用法令に違反しているおそれがあると気付いた場合は、管理職者または次ページに記載してある連絡先に速やかに連絡してください。
- 昨今のあるべき基準や求められている行動を常に理解するために、ビジネス倫理やコンプライアンスに関するトレーニングを受けます。
- あらゆる内部調査に全面的に協力します。

ビジネス目標を達成するためなど、いかなる理由も、この行動規範、AIGのポリシー、法律または規制に違反することを正当化する理由にはなりません。

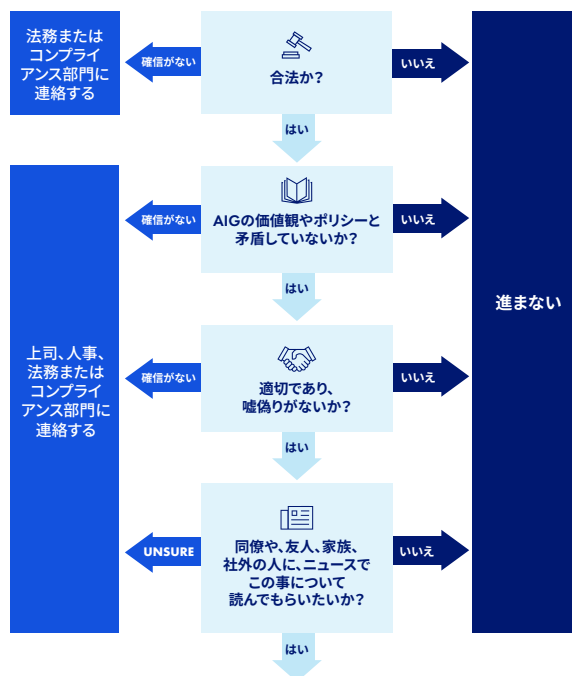
管理職者としての責任

管理職者には、社員としての責任だけでなく、次のような責任があります。

- 高い倫理基準を持つ手本として行動し、互いに信頼、尊敬し合い、一人ひとりが正直かつ誠実に行動する企業文化を育てます。
- 社員の拠り所となり、日常業務において社員が、この行動規範・AIGのポリシー・適用される法律や規制を認識し、理解し、適用させていくことを徹底します。
- 社員が安全で安心できる環境で、問題、苦情、不満を述べることができる体制を整え、AIGの報復禁止の原則を強化します。また、社員が伝えた問題、苦情、不満への対応が公正に、適時対処されていることを確実にします。
- どのような状況であれ、対応方法が不明な場合は、他の管理職者、法務部門、コンプライアンスオフィサーまたは人事部門に助言を求め、またはAIGコンプライアンス・ヘルプラインを通じて報告します。
- 常に先を見据えて行動します。不正行為の防止および発見のために適切な措置を講じます。AIGの社員として倫理的な行動が困難になる状況があればそれを報告します。

TheHeadlineTest

より良い判断を行うために自問してみましょう



あなたの決断は行動規範に準拠しているようです。

その他の質問がある場合は、いつでも上司や、人事、法務、コンプライアンス部門に連絡できます。

私たちのコミットメントの実行

質問や懸念

職場で直面する可能性の高い問題の多くは、管理職者、人事部門、エンployeeリレーションズ部門、またはコンプライアンスオフィサーに相談したり、協力を依頼したりすることで解決することができます。さらに、AIGの社員は、この行動規範、AIGのポリシーまたは法令に抵触するかもしれない事項について次のいずれかに報告することができます。

- AIGのグローバルコンプライアンスグループ (+1646857-1877または電子メール: corporatelegalcompliance@aig.com)。
- AIGコンプライアンス・ヘルプライン (+1877-244-2210またはオンライン: www.aigcompliancehelpline.com)、または下にあるQRコードをスキャンしてください(現地法に従います)。コンプライアンス・ヘルプラインは、独立した第三者のスタッフにより運営されており、受け付けた相談や通報を、AIGのグローバルコンプライアンスグループに書面で報告しています。ヘルプラインへの連絡は、現地法に準拠した上で匿名形式により行うことができ、あらゆる主要言語を通じて行うことができます。

経理、会計または監査全般の問題に関しては、社員は(現地法に従い匿名でヘルプラインから)上記のいずれかに連絡するか、AIGの取締役で構成されるオーディット・コミッティーの委員長まで電子メール (boardofdirectors@aig.com) または以下の宛先に郵便で連絡することができます。Chairman of the Audit Committee, American International Group, Inc., 1,271 Ave of the Americas, Floor 41, New York, NY 10020-1304.

AIGコンプライアンス・ヘルプライン

このヘルプラインは、独立した第三者サービスプロバイダーによって運営され、プロバイダーは報告をAIGのグローバルコンプライアンスグループに転送します。現地法によりますが、匿名で連絡することもできます。

電話



+1-877-244-2210

QRコード



ウェブ



aigcompliancehelpline.com

報告はグローバルコンプライアンスグループによる評価

アドバイスを求める

正しい決定ができるよう
ガイダンスが提供されます。

懸念の報告

課題については、AIG内の
適切な内部組織が
迅速に調査します。

私たちのコミットメントの実行

Q&A

質問や懸念

Q: AIGコンプライアンス・ヘルプラインに報告すると何が起こるのでしょうか？

A: AIGコンプライアンス・ヘルプラインのスタッフ（独立した第三者）が電話を受け、その内容をAIGのグローバルコンプライアンスグループに報告します。オンラインから報告が提出された場合、コンプライアンス・ヘルプラインのスタッフは、それをグローバルコンプライアンスグループに直接報告します。

1. 助言を求める場合には、正しい判断を行えるようにガイダンスや説明を行います。
2. 疑わしい行為について報告したい場合は、コンプライアンス・ヘルプラインのスタッフが、情報を記録し、グローバルコンプライアンスグループに報告します。経理、会計および監査全般の問題に関する報告は、グローバル調査グループの代表者が審査を行い、必要であれば、AIG取締役会で構成されるオーディット・コミッティーに報告されます。
3. AIG内の別の部門（例：法務、内部監査、グローバルセキュリティ部門または人事）が、より適切に問題に対応できる場合は、グローバルコンプライアンスグループはその部門に報告し対応を依頼します。

Q: 違反を報告しても匿名性を保つことはできますか？

A: AIGは、情報について速やかかつ徹底的な調査が行えるように、報告する社員が身元を明かすよう奨励しています。懸念を提起した社員に直接連絡できるかどうかによって、調査を効率よく処理できるからです。しかしながら、現地法または労働契約に従い、AIGコンプライアンス・ヘルプラインに問題を報告する際に匿名を選ぶこともできます。

Q: 機密性や報復については、どうなのでしょう？

A: 法律やAIGのポリシーと矛盾することなく、違反またはそのおそれを誠実に報告した社員の機密性を保ち、誠実に報告を行った社員を報復から守るために、当社はあらゆる妥当な努力を行います。AIGは、この行動規範、他のAIGのポリシー、または適用法令や規制への実際の違反、または違反の疑いを誠実に報告する社員に対する報復を禁止しています。この報復禁止ポリシーの違反は、最大で解雇を含む是正措置の対象となる場合があります。

コミットメントの実行

報復の禁止

AIGは、行動規範・AIGのポリシー・適用法令への実際の違反、または違反の疑いを誠実に報告する社員に対する報復を禁止しており、この報復禁止ポリシーの違反は、最大で解雇を含む是正措置の対象となる場合があります。

是正処置

行動規範・AIGのポリシー・適用法令への違反、または他者にそれを促すことは、AIGの風評リスクを高めることになるため、是正処置が講じられる場合があります。また、他者の違反行為を知りつつ速やかに報告しなかった場合も、行動規範に違反したこととなる場合があります。是正処置には指導、口頭または書面による警告、解雇および雇用関連手当の喪失が含まれます。

適用除外

AIGではこの行動規範に修正を加えたり、例外を設けたりすることがあります。適用除外措置が必要だと思われる場合は、コンプライアンスオフィサーに相談して下さい。AIGのエグゼクティブオフィサーに対して、行動規範の特定条項についての例外を認めることができるのは、AIGの取締役会・その指定委員会・コーポレート・ガバナンス委員会のみです。



コミットメントの実行

Q&A

Q: 私が所属する事業部門は、様々な達成すべき事業目標を設定しています。時には、行動規範に違反してでも目標を達成しなければならない、というプレッシャーを感じます。これは認められるのでしょうか？

A: いいえ。業績が好調な企業は、高い目標を設定して達成しようと努力するものですが、目標を達成するために行動規範やその他のAIGのポリシーに違反することは、決して認められません。ビジネス目標を達成するために、私たちの誠実さが損なわれることがあってはなりません。

Q: 私の上司は、不正行為のおそれがあるという報告を受けても、通常何の行動も取りません。報告した同僚が嫌な思いをするだけです。最近、別の同僚が何か間違っただけをしているようです。私はどうすべきでしょうか？

A: 率直に話してください。この行動規範には、社員は不正行為を報告する義務があり、報復を恐れることなく報告できることが記されています。疑わしい行為を見つけた場合の対処方法は、まず直属の上司に相談することですが、それが適切でないと思われる場合は、他の管理職者・人事部・コンプライアンスオフィサーに相談して下さい。さらに、AIGのコンプライアンス・ヘルプラインに電話またはオンラインで報告をすることができます。

Q: 日本の法律がこの行動規範と一致していないと思われる場合は、どうしたらよいですか？

A: 日本の法律が行動規範と一致していないと思われる場合は、コンプライアンスオフィサーに相談してください。

同僚に対する コミットメント

AIGとその前身企業は100年以上にわたり、保険業界において世界のリーダーとしての地位を保ってきました。その理由は、AIGが常に多様で優秀な人材の力を信じて、顧客、販売パートナー、株主、その他のステークホルダーにとっての価値を生み出し、尽力してきたからです。

同僚に対するコミットメント

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

[AIGグローバルヒューマンリソースポリシー](#)に記載されている通り、当社は、人材、アイデア、能力の多様性を受け入れることに全力で取り組んでいます。

AIGは、多様な技能や考えを持った人々が集まるダイナミックな環境を作り、優秀な人材を採用して重く用いています。あらゆる分野での多様性と公平性のある人材は、革新を促進し、グローバルマーケットリーダーとしてのAIGの立場をさらに強固なものにしています。

AIGは、事業を展開している国や地域の文化を最もよく理解している現地の人々の貢献に支えられています。AIGは常に、専門知識を持つ現地の人々を採用し、専門的なビジネス環境、リーダーシップの機会、および公平な報酬を才能溢れる現地の人々に提供することに尽力してきました。

AIGは、社員が学習し、業務において優秀な実績を残し、組織とともに成長し昇給を受ける機会を与えています。

同僚への敬意

敬意を持って他者に接するということは、年齢、民族、性別、性自認または表現、言語の違い、国籍または出生国、妊娠の有無、家族または婚姻状況、身体・知能・発達能力、人種、宗教または信念、性的指向、肌の色、社会的・経済的階級、学歴、ワークスタイル・行動様式、支持政党、軍務経歴、カースト、および該当する現地法で保護されているその他のステータスなどによって差別しないことを意味します。

敬意を払うということは、互いの違いを大切にすることでもあります。私たちは互いの意見を尊重し、すべての同僚を公正かつ尊厳をもって扱います。

人権の尊重

AIGは、サービスを提供する国際社会の人権を尊重し、国際的に認知された人権基準に従って事業を行い、AIG内で児童労働、現代の奴隷制、または人身売買への関与が行われないようにするため尽力しています。

コミットメントの実行

同僚への敬意

- 業績と業務に関する共通の基盤に応じた、機会を社員に提供する。
- 差別やハラスメントの禁止を含む現地の労働関係法令を遵守する。
- ハラスメント (性的嫌がらせを含む) や職場でのいじめ、差別のない職場環境を提供する。
- 職場環境に関して懸念があれば、人事部門、エンプロイヤーリレーションズ部門、またはコンプライアンスオフィサーに申し出る。



同僚に対するコミットメント

ハラスメントや嫌がらせのない職場環境

AIGは脅迫やいじめなどの不適切な行動を全く容認しません。いじめや脅迫は職場および／または就業中に直接的もしくは間接的に、または意図的もしくは非意図的に行われることがあり、また一人もしくは複数の人によって、一人や複数の人に対して行われることがあります。いじめやハラスメントは言葉によるもの、言葉によらないもの、オンライン／ネット上でのもの、肉体的なもの、ジェスチャーによるもの、排他的な行為によるものなどがあります。

安心して働ける安全で健全な職場環境

AIGは、AIGの施設内にいる社員や顧客の健康、安全およびセキュリティを守りながら事業活動に取り組んでいます。健康、安全、セキュリティまたは環境に害を与えるおそれがある場合は、速やかに管理職者またはセキュリティ担当部門に報告しなければなりません。

安心して働ける安全な職場環境を維持するためには、社員全員がオフィスで、またはAIGを代表して業務を行うあらゆる場所で注意を払う必要があります。会社のセキュリティ、緊急事態・防火・生命の安全等に対する悪影響を及ぼすおそれがある場合は、管理職者またはグローバルセキュリティ部門に報告してください。

AIGは、社員の健康と健康維持が、当社組織の健全性を保つのに不可欠であり、顧客、ビジネスパートナー、株主、地域社会、のそれぞれに、より貢献するために影響を与えることを認識しています。当社は、社員の心身の健康および社会福祉を促進する職場文化の育成に注力しており、この取り組みを損なう行動を容認しません。

アルコールや薬物の使用

AIGでは、違法な薬物の使用・販売・所持またはそれを使用した状態での勤務を禁止しています。さらに、業務中に、過度または不適切にアルコールを摂取することも禁止しています。アルコールまたは他の物質の影響下にあるという理由で、不適切な行動の言い訳にしたり、正当化したりすることはできません。

禁止行為

ハラスメント

- 不快な言動または身体的接触。
- あからさまに性的または不快な写真などのディスプレイ。
- 差別用語、不適切な冗談、中傷的なコメント（明示的であれ、ほのめかしてあれ）。

暴力および脅迫行為

- 当社施設内において、または当社のコミュニケーションチャネルを通しての社員、顧客または訪問者に対する脅迫行為や暴力行為。
- AIG社員が当社を代表して業務を行う際の、脅迫行為や暴力行為。

同僚に対するコミットメント

社員のプライバシー

AIGは、以下の目的のために、措置を講じる必要があります。

- 犯罪、マネー・ローンダリング、詐欺、金融犯罪および／またはその他の適用される法令違反の防止、検知または調査のため。
- 適用される法規制、およびこの行動規範を含む適用されるAIGのポリシーを遵守するため。
- AIG会社情報の滅失、盗難、不正または違法な収集、使用、開示、破壊、またはその他の処理、もしくは誤用から保護するため。
- AIGインフォメーションテクノロジーシステム（「ITシステム」）およびAIGITシステム・データの不正使用を防止、検出、調査するため。
- AIGITシステム（電話、電子メール、インターネットを含む）の効果的な運用を確実にするため。
- セキュリティまたは安全衛生の目的のため。
- 管理目的のため。
- 調査、苦情、規制当局からの要請、訴訟、仲裁、調停、その他の法的手続きや義務、または個人からの要請を支援するため。
- 事実の存在を立証するため（取引記録の保持など）。
- AIGに関連する規制上または自主規制上の慣行や手続きを遵守していることを確認するため
- この行動規範、その他のAIGのポリシー、スタンダード、プロセス、ガイドライン、またはAIG ITシステムの使用に関連する規程（情報セキュリティおよびサイバーセキュリティに関するものを含むが、これに限定されない）への準拠を含め、AIG ITシステムを使用する人物が達成した、または達成すべき基準を確認または実証するため。または
- 顧客サービスの品質、効率性、コスト、リスク管理目的を評価するためなど、業務の運営支援および策定の過程において。

このトピックに関する詳細については、[社員プライバシー通知](#)を参照してください。

こうした参照目的のために、関連法令で許可され、AIG社員プライバシー通知に開示されているとおり、AIGは、社員のAIG ITシステムへのアクセスおよび使用、ならびにAIG ITシステムを使用しAIG ITシステムに存在するあらゆるデータをモニタリングする場合があります。

関連法令に従い、AIGのITシステムの使用に関して、またはAIGシステムやAIGの敷地やその他の施設内のアイテムや情報に関しては、社員は上記の事柄を十分認識しなければなりません。

AIGは、AIGの敷地や社員および訪問者がアクセスできるその他の施設に関連する可能性のあるセキュリティビデオのライブ映像や録画、およびアクセス記録をモニターし、確認することもあります。

さらに、AIGは、AIGの敷地内およびその他の施設（ワークステーション、オフィス、デスク、ファイリングキャビネット、その他の保管場所など）において、文書およびその他の物品を点検、確認、複写、および保管することがあります。

詳細については、[AIG ITシステムログオン通知](#)（AIG ITシステムにログオンする際に確認および承諾することができます）および[AIGグローバルモニタリング通知](#)をお読みください。



同僚に対するコミットメント

AIGの会社情報とは？

AIGの会社情報とは、(AIGグローバルインフォメーションハンドリングポリシーおよびスタンダードで定義されている) 極秘、機密、または社外秘として分類される情報を指します。これらのカテゴリーには、個人情報と企業情報の両方が含まれます。

AIGの会社情報の例には次のものが含まれますが、これらに限定されません。

極秘

機密性の高い個人情報：氏名、政府発行のID番号、金融機関の口座番号または医療・健康情報

ビジネス情報

- AIGの非公開の機密性の高い財務情報
- 取締役会の会議情報
- 企業秘密
- 非公開の事業活動案
- 弁護士と依頼人との秘密特権で保護されている通信、弁護士のワークプロダクトおよびその他の特権を有する文書

機密

個人情報：氏名および報酬データまたは社員に公開していない個人の連絡先詳細

ビジネス情報

- 法人顧客リスト
- 法人の被保険者または保険金請求者の保険契約または保険金請求情報
- 市場調査およびリスク分析

社外秘

個人情報：氏名および社員ID番号

ビジネス情報

- 機密性のない社員間の社内通信
- 機密性のないマーケティング計画または手法
- AIGのイントラネットで保全されている情報



同僚に対するコミットメント

Q&A

Q: 私の上司と数人の同僚が、性的な意味のあるジョークを言うので、非常に不快に感じています。口出しするなどが、大げさだとか言われることはわかっているので、私は何も言っていません。彼らは正しいのでしょうか？

A: いいえ、間違っています。不快にさせるような性的な意味合いを持つジョークは、たまたま耳にしてしまったようなプライベートな会話であっても、ハラスメントになることがあります。まず、上司や同僚と話してみてください。それでもうまくいかない場合、また彼らと話すのが気まずく感じられる場合は、人事部門担当者、エンプロイヤーリレーションズ部門と話す、コンプライアンスオフィサーに相談する、またはHRシェアードサービス (HRSharedServices@aig.com) に連絡してください。

Q: 多様性は、米国だけの問題ではないのですか？AIGのようなグローバル企業の行動規範にこの項目が含まれている理由を教えてください。

A: 多様性は世界的な関心事です。私たちは世界中の多様な人材の比類ない能力や視点を活用するために、常に互いに協力し合ってきました。多様性は、AIGの成功にとって大切な要因の一つです。的確な判断を行い、世界中の顧客にサービスを提供するためには、幅広い観点や多様な経歴が必要です。

Q: 上司が同僚の医療記録に含まれるプライベートな情報を、他の管理職者と話し合っているのを耳にしました。私はどうするべきでしょうか？

A: 医療・健康情報は、極秘の個人情報であり、厳重に保管される必要があります。こうした情報を不適切に共有することは、AIGグローバルインフォメーションハンドリングポリシーに対する違反になります。しかるべき管理職者にこの問題を提起する必要があります。それが躊躇される場合は、人事部門、エンプロイヤーリレーションズ部門またはコンプライアンスオフィサーに報告してください。現地法に従い、AIGのコンプライアンス・ヘルプラインに報告することもできます。

業務遂行における コミットメント

AIGは、マーケットのリーダーであることで知られています。私たちは、積極的な競争を通じて、顧客やその他のステークホルダーに新しいビジネスチャンスを提供しています。同時に、合法的かつ倫理的なビジネス行為を通してのみ、競争上の優位性を追及します。

業務遂行におけるコミットメント

顧客のプライバシーと情報セキュリティ

当社の顧客は、提供した情報を、AIGが慎重に取り扱い管理することを期待しています。個人情報を含む顧客の極秘または機密情報を、AIGグローバルインフォメーションハンドリングポリシーおよびスタンダードまたは当社の顧客対応プライバシーポリシーに反した方法で、または当該情報について正当なビジネスニーズを持たない人に開示することで、顧客の信頼を決して損なわないようにしてください。

個人情報などの情報の分類は、国ごとに異なります。顧客情報を取り扱う社員は、プライバシー保護や情報セキュリティに関する法を理解し、それを遵守しなければなりません。いかなる場合でも、個人情報を含む顧客の極秘または機密情報を物理的・人的・技術的に保全していかなければなりません。

(正当なビジネス目的がある場合であっても) 別の当事者と個人情報を共有する際、また国境を越えて、特に外国の法域に所在する法執行機関や政府機関に個人情報を送信する場合は、法令、ポリシーに従うよう特に注意する必要があります。社員は、そのような要請を受けた場合、直ちにAIGプライバシーオフィスに報告しなければなりません。データプライバシーおよび／または情報セキュリティについて質問がある場合は、上司、法務部門、プライバシーオフィサー、またはコンプライアンスオフィサーに相談してください。

社員は、個人情報の機密性、完全性、または利用可能性を損なうような事象、そのようなリスクの高まり(「プライバシーリスクインシデント」)(第三者に関連するものも含む)を直ちに、適切なAIGプライバシーチームに報告しなければなりません。また、IT関連のインシデントの場合、もしくは個人情報にとどまらず他の情報に情報セキュリティリスクをもたらす可能性のある場合は、グローバルサイバーリスク防御センターにも報告してください。

このトピックに関する詳細については、[AIGグローバルインフォメーションハンドリングポリシー](#)および[スタンダード](#)をご覧ください。



業務遂行におけるコミットメント

利益相反

AIGにおけるあなたの立場を利用して、不適切に個人的に利益を得たり、あなたや家族に便宜を図ったりしてはいけません。あなたとAIGとの間に利益相反またはそのおそれがあると受け取られかねない状況を作ることは、避けなければなりません。[AIGの利益相反に関するグローバルポリシー](#)は、社員が潜在的な相反を特定するのに役立つ事例を概説し、その報告手順を規定しています。

社員は潜在的な利益相反を報告し、経営陣はコンプライアンスオフィサーと協力して、最も適切な対応策を決定します。

社員は、ポリシーで規定されているように、上司および担当のコンプライアンスオフィサーの両者から書面による承認が得られるまで、争点となっている行動に従事（外部事業を引き受ける、争点となっている贈答品や接待を受け取る、公選職に立候補するなど）してはなりません。

コミットメントの実行

利益相反

- 個人的な利益を追求することなく、常にAIGとその顧客の利益を最優先して決定する。
- AIGの顧客、ベンダーまたは競合他社で副業に従事したり、そこに投資を行ったりなどの個人的な活動が利益相反へとつながる可能性があることを留意する。
- 利益相反の可能性があるとと思われる事柄については、管理職者に相談する。
- 社員自身、または親族や友人の行為がAIGの利益と相反するおそれがある場合は、事前に申し出る。

AIGのビジネスチャンス

AIGの社員は、AIGの資産・情報・地位を通して得たビジネスチャンスを自分自身のために利用したり、第三者に与えたりすることは禁止されています。ただし、AIGが既にその機会を得ていたり、それを辞退していたりした場合はこの限りではありません。社員は、AIGを排除して個人的利益を上げるために会社の法人財産、情報または立場を使用すること、およびAIGと競合する外部事業に携わることを禁じられています。

私的な関係

社員は、私的／家族関係と仕事の責任や生産性との間に実際に生じる対立、またはそうなる可能性がある対立を回避するよう、職場における私的な関係（親族の雇用、親密な関係など）を管理することが期待されています。

社員の親族・家族・個人的に親しい関係を持つ人物が、ビジネス上の決定に不適切な影響を与えてはいけません。

このトピックに関する詳細については、[AIGグローバルヒューマンリソースポリシー](#)を参照してください。当該ポリシーは、各現地の社員ハンドブックと基準（ある場合）と併せてお読みいただく必要があります。質問または開示する事項がある場合は、人事部門、エンployeeリレーションズ部門、またはコンプライアンスオフィサーまでお問い合わせください。

社外活動

AIGは社員全員のプライバシーを尊重しています。ただし、利益相反の報告が現地の法律で禁止されている国に在住している場合を除き、特定の種類の社外活動への関与について開示し、上司とコンプライアンス部門の両方から承認を得なければなりません。そのような活動には以下が含まれますが、これらに限定されません。

- **従業員、オーナー、取締役、役員、受託者、パートナーまたはコンサルタントの立場での他社または業界団体におけるサービス。**（現在AIGと取引しているかまたはその見込みがあるか、AIGと競争しているかその可能性があるか、または有償か否かを問わない）このタイプの社外活動に従事する前には、マネージャーおよびコンプライアンスオフィサーからの書面による事前承認が必要となります。管理上およびコンプライアンス上の承認は毎年、および当初与えられた承認に関する事実に変更が生じた時点で、更新する必要があります。この条件は、住宅協同組合、マンション管理組合もしくはあなたが居住する同様の事業体、持ち株会社、信託会社、またはあなたやあなたの家族の遺産相続計画もしくは税務計画のためだけに設立された同様の事業体の理事会での役務、あるいはAIGやAIGの子会社から着任の依頼を受けてなんらかの事業体の理事会の一員となることには適用されません。

業務遂行におけるコミットメント

- **サービスに対して自身が報酬を得る、または財務責任や受託責任のある職務に就く**（組織の取締役会における会計責任者、監査委員会の一員または投資委員会の一員を務めるなど）場合の、財団、慈善団体または非営利団体でのサービス。このタイプの社外活動に従事する前には、マネージャーおよびコンプライアンスオフィサーからの書面による事前承認が必要です。管理上およびコンプライアンス上の承認は毎年、および当初与えられた承認に関する事実に変更が生じた時点で、更新する必要があります。この条件は、AIGボランティア休暇プログラムのガイドラインの対象となる「ボランティア休暇」活動には適用されません。
- **自身が報酬、ロイヤリティ、謝礼、またはその他の支払いを受けるプレゼンテーション、講演またはサービス**。AIGを代表して発言できるのは、その権限を持つ社員に限定されます。さらに、社外での講演、討論会、イベントで話す場合、従業員はAIGのガイドラインに従い、AIGのグローバルコミュニケーションポリシーに準拠する必要があります。プレゼンテーション、講演または討論会で使用する資料は、コーポレート、事業部門またはAIGのポリシーに従って、発表の前に確認を受ける必要がある場合があります。さらに、報酬を受け取る前に、マネージャーおよび所属会社のコンプライアンスオフィサーからの書面による事前承認が必要となり、受け取った報酬をAIGに返却する必要がある場合があります。
- **公務員（例：当局または審議会等を含めた政府機関の一員、責任者、役員または職員）または政府機関の被指名人としての役割を務める、または公選職に立候補する**。このタイプの社外活動に従事する前には、AIGのグローバルチーフコンプライアンスオフィサーまたはその代行者およびマネージャーからの書面での事前承認を得る必要があります。任期が終了した際、また再選または再指名を目指す際には、承認を更新する必要があります。

AIGとの間に利益相反があるような様子をさけるために、AIG後援プログラム以外のコミュニティ支援活動に参加する際には、AIGがその活動を支援していることをほのめかすようなことは絶対にしないでください。

贈答品および接待

ささやかな贈答品や適切な接待は取引先との関係を強化する上で役立ちますが、こうしたビジネス上の厚意は、AIGの社員が贈る場合も受け取る場合も、ビジネス上の決定に不適切な影響を及ぼすことがあってはなりません。

贈答品とは、AIG社員とAIG以外の社員が当事者となり、その間にビジネス上の関係がある、またはその可能性がある場合に、両当事者間で授受される金銭的価値のある物品のことです。接待とは、特定のビジネス目的を持ち、AIG社員とAIG以外の社員の両者が出席するイベントのことです。イベントにAIG社員一人だけが参加する場合、そのAIG社員はそのイベントをを規定の限度額が適用される贈答品と見なす必要があります。

[AIG利益相反に関するグローバルポリシー](#)に定められた基準に反する贈答品または接待が提供された場合は、贈答品または接待を丁寧に断ってください。贈答品の受け取りを拒否することで取引相手を不快にさせたり、取引関係を損なったりする可能性がある場合は、AIGを代表して受領し、上司に渡さなければなりません。受け取った上司は、コンプライアンスオフィサーと協議の上、贈答品の適切な処分方法を決定します。

ギフト券、小切手、トラベラーズチェック、マネーオーダー、投資有価証券、譲渡可能な有価証券、クレジットカード料金の支払いまたはこれと同様の品目など、現金または現金同等物は金額に関係なく受け取ったり贈ったりしてはいけません。

一部の事業部門または地域／地方においては、贈答品および接待に関してさらなる制約や報告要件を課している場合があります。社員は自身に適用されるすべてのポリシー文書を理解し、それを遵守する責任があります。



業務遂行におけるコミットメント

適切な贈答品または接待に関する注意事項。

- 特定のビジネス目的がある。
- 節度を保ち、贅沢なもの、過度なもの、贅沢品は避ける。
- 同じ相手とは妥当な頻度で授受を行う。
- AIGおよび相手側の会社の方針で認められている範囲内で行う。
- 贈答や接待を行う国や地域で妥当かつ通常および慣例、合法的と認められるような方法で行う。
- ビジネス上の判断に不適切な影響を及ぼすことを求めない。
- AIG社員が要求してはならない。
- 金額に関係なく、現金または現金同等物（ギフト券など）であってはならない。
- 贈答品の場合は150米ドル以下とする。

官公庁の職員への贈答品および接待

AIGは、多数の国有または公営のクライアントとの事業に従事しています。これには中央銀行、財務省、年金基金、その他の企業（航空会社や商業銀行を含む）が含まれます。現地または国際的な腐敗行為防止関連法に従い、こうした政府系クライアントの代表者の多くは、官公庁の職員とみなされます。そのため、政府系クライアントと連絡を取る社員は、そのようなクライアントと取引する際に生じる可能性のある潜在的な問題やリスクを認識しておく必要があります。

官公庁の職員に贈答品および接待を提供する場合は、特別な注意が必要です。贈答品、接待または旅行は、[AIGグローバル不正ビジネス慣行防止ポリシー](#)および現地法と矛盾してはなりません。AIGが事業を行う多数の国では、その政府役人が受取できる贈答品、接待、出張の価値を制限しています。

[AIGグローバル不正ビジネス慣行防止ポリシー](#)の遵守に加え、官公庁職員に提供されるすべての旅行、贈答品および接待は、[AIGグローバル経費管理ポリシー](#)および適用される現地のビジネスポリシーに準拠しなければなりません。

コミットメントの実行

贈答品および接待

- 贈る場合も受け取る場合も、ビジネス上の判断に不適切な影響を及ぼす贈答や接待を行ってはならない。
- 提供者が同席していない接待には贈答品の規則を適用する。
- ビジネス上の贈答品の交換や接待は、地域的および文化的な要素に配慮しつつ行う。
- 贅沢な贈答品や豪華な接待の提供・受取を行ってはならない。
- 贈答品、便宜供与または接待を要求してはならない。
- 150米ドルを超える贈答品の授受は上司およびコンプライアンスオフィサーに報告し、判断を仰ぐ。
- 民間人（非政府職員）に対して150米ドルの価値を超える贈答品を贈る場合、上司および所定のコンプライアンスオフィサーから書面による事前承認を得なければなりません。
- 賄賂またはその他の不適切な支払いまたは贈答品とみなされるものは一切提供してはいけません。贈答品または接待を官公庁の職員に提供する場合は、[AIGグローバル不正ビジネス慣行防止ポリシー](#)を遵守してください。次のものを提供する場合は、上司および所定のコンプライアンスオフィサーからの事前の書面による承認が必要です。政府職員が関与する50米ドルを超える食事、または金額を問わず政府職員への贈答品、旅行、またはその他の接待。

業務遂行におけるコミットメント

ビジネスパートナーとの関係

当社のビジネスパートナーは、AIGのビジネスの延長線上にいます。AIGの業務を行う場合、ビジネスパートナーには行動規範の意図、[AIGの第三者行動規範](#)および／または[AIGサプライヤー行動規範](#)および適用される契約に定めたあらゆる条項を守ることが求められます。

ビジネスパートナーは、AIGの社員と同様に禁止されている方法や不適切と見なされる方法で業務を行ってはいけません。顧客、プロデューサー、代理店およびサプライヤーがAIGとの関係を悪用したり、AIGの名称を詐欺的取引、道義に反する取引または不正な取引に使用したりすることがないように注意しなければなりません。

AIGのビジネスパートナーは、AIGの社員またはAIGと取引のある者に対し、この行動規範の規程の違反をそそのかしてはいけません。

ビジネスパートナーの責任ある選択と管理は私たちのビジネス慣行の中核です。AIGの社員は、[AIGグローバル商品・サービス調達ポリシー](#)を遵守しなければなりません。具体的には、社員は契約を締結し、正式な要請を伝達し、および／またはサプライヤーに商品やサービスの提供を許可する前に[グローバルソーシング・調達サービス \(以下「GS&PS」という\)](#)に依頼する必要があります。

購入のニーズに関するご質問は、GS&PSまでお問い合わせください。製品やサービスの調達に関するサポートについては、社員は[AIGのローカルのサポートツール](#)を通じてGS&PSに依頼できます。

サプライヤーの多様性

当社は、[AIGサプライヤー・ダイバーシティポリシー](#)で定義・規定されている通り、多様なサプライヤーのインクルージョン（参画）や検討、それらと契約することに全面的に取り組んでいます。AIGでは、様々なサプライヤーとの提携を求めています。AIGは、インクルージョン、ダイバーシティ、環境・社会・ガバナンスへのコミットメントの向上とサポートに対するAIGの熱心な取り組みを共有できるサプライヤーを尊重しています。

AIG社員一人ひとりには、[AIGのサプライヤー・ダイバーシティ・ポリシー](#)を尊重し、このポリシーの条件を満たすサプライヤーを積極的に利用しなければいけません。

私たちのコミットメントの実行

ビジネスパートナーとの関係

- 正当な手段によってAIGのサービスが提供されるように、AIGの代理店やAIGの名称でビジネスを行う者の行為に注意する。
- 取引を始める前に、代理店、コンサルタント、委託契約業者およびサプライヤーに関して適切なデューデリジェンスを行う。
- AIGのサプライヤーまたは代理店に不適切な活動に関与するように圧力をかけたり、奨励したりしてはならない。
- サプライヤー、代理店またはAIGの商品を販売する者には敬意と配慮を持って接する。

業務遂行におけるコミットメント

公正な取引

AIGでは合法的かつ倫理的なビジネス行為を通じてのみ、競争で優位に立つことを目指しています。私たち一人ひとりが顧客、サービスプロバイダー、サプライヤーおよび競合他社と公平に業務を行う必要があります。競合他社および他社の商品やサービスを非難してはいけません。公表されていない情報の改ざん・隠匿・乱用を行ったり、意図的に重要な事実と違うことを告げたり、その他の不公正な行為を行うことで、不正に他者よりも優位に立つことは許されません。

私たちのコミットメントの実行

公正な取引

- 私たちは公正な競争を行うというをはっきりと示しながら、顧客やサプライヤーと取引を行う。
- 事実に基づいた正確なマーケティング情報を提供する。
- 合法かつ適切な手段およびAIGの誠実さをはっきりと示す方法でのみ、競合他社に関する情報を収集する。
- 競合他社に関する情報を収集する場合は、不正な方法や疑わしい方法を絶対に使わない。
- 現在または見込みのあるAIGの顧客またはビジネスパートナーとのビジネスにおいて、自分自身や目的を偽ってはならない。

警告サイン

独占禁止と公正な競争

独占禁止や公正な競争に関する法律の内容は、国や地域によって異なります。そのような違いにより、ある活動が一部の国や地域では認められ、別の国や地域では禁止される場合があります。以下のようなことが生じ、それが合法的であるかどうか判断できない場合は、コンプライアンスオフィサーに相談して対処方法を検討してください。

- 顧客の再販価格を指示したり操作したりしようとする。
- 顧客による他の商品またはサービスの購入を条件として、商品またはサービスを販売すること（抱き合わせ販売の禁止）。
- 同じような条件にある競合他社の提示価格と比較して有利な価格または条件を顧客に提示すること。
- 顧客またはサプライヤーに対し、競合他社との取引をさせないようにすること。
- 費用に見合わない商品やサービスを販売すること。またはその他の不公平な価格設定や販促活動を行うこと。

業務遂行におけるコミットメント

独占禁止と公正な競争

AIGは世界中で公正な方法により積極的に競争を行っています。AIGは不適切な方法や競争を妨げるような方法によってではなく、優れた金融商品やサービスを通じて、ビジネスを行い、成長を目指しています。私たちは、世界各国の競争法および独占禁止法を理解し遵守するように努めています。

これらの法律は複雑です。どのように対応してよいかわからない場合は、コンプライアンスオフィサーに相談し、詳しい情報や明確な説明を求めて下さい。以下は、公正な事業運営および適切な競争のためのガイドラインです。このトピックに関する詳細については、[AIG独占禁止と競争に関するグローバルポリシー](#)をご覧ください。

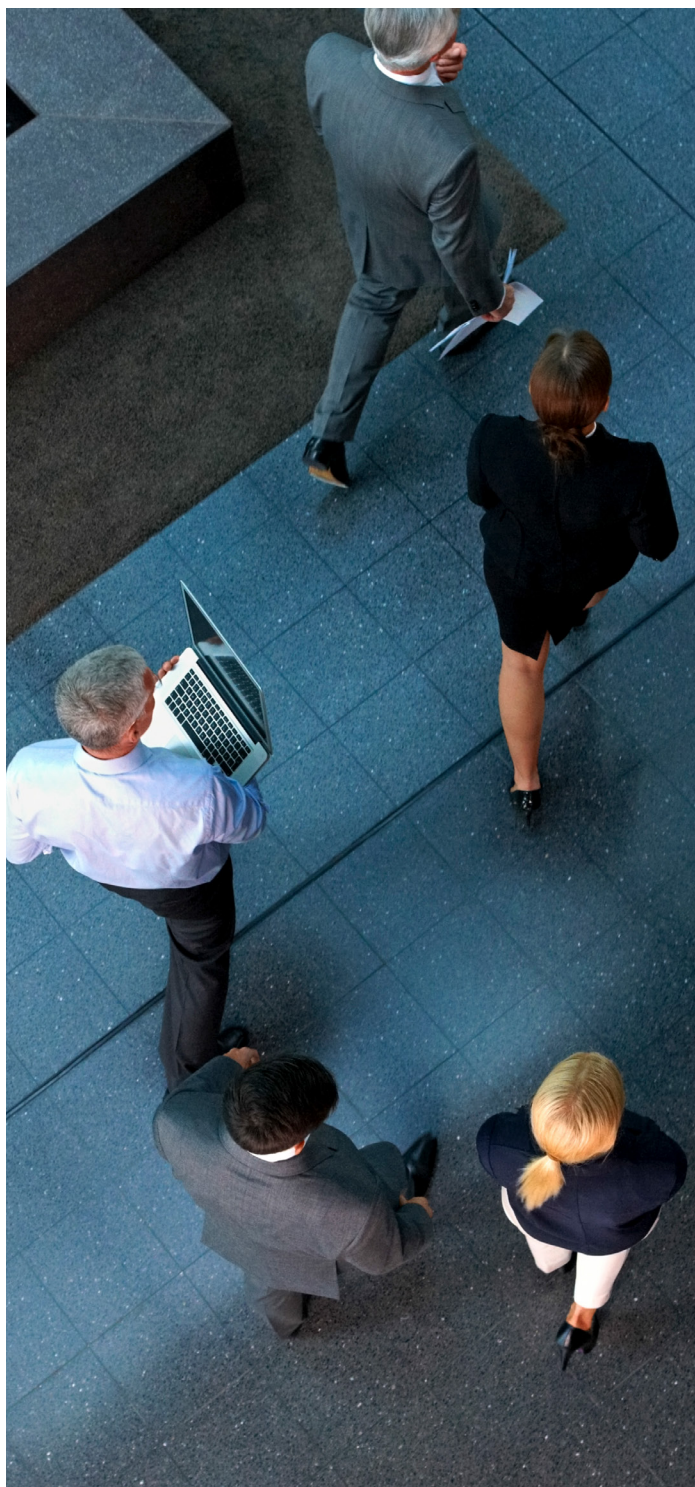
実践すべきこと

- AIGがビジネスを行っているすべてのマーケットにおいて法律を遵守しつつ積極的に競争し、AIGの利益を最優先してすべてのビジネス上の判断を行います。
- 競合他社に関する情報は合法的かつ適切な情報源からのみ入手します。
- 競合他社またはその商品やサービスに関しては、事実情報に基づいた意見のみを述べます。

禁止事項

- 公式または非公式を問わず、以下のことを競合他社とともに申し合わせてはいけません。価格やその他の販売条件の決定、談合、売上げまたは販売量の設定、顧客・マーケット・販売地域の割当。
- 以下のことについて競合他社と話し合ってはいけません。価格、入札、客層、手数料、販売条件、利益、利幅、コスト、売上、在庫、仕入れ、マーケティング計画またはその他の競合に関する機密情報。
- 上記2つの内容を含む、競争に関する機密情報が話題になる競合他社との会合に出席してはなりません。
- どのサプライヤーや顧客と取引を行うかについて、社外の人と取り決めをしてはいけません。
- 競合他社またはその金融商品やサービスに関して、根拠のない比較や誤った比較を行ってはいけません。
- AIGの競合他社、または競合他社に対して守秘義務を持っていることがわかっている人物から、競争に関する重要機密情報を取得してはいけません。
- 公式であるか非公式であるかを問わず、第三者とお互いの従業員を採用、勧誘、雇用しないよう取り決めをしてはいけません。

業務遂行におけるコミットメント



競合他社についての情報

AIGでは、違法または非倫理的な手段を使用して、企業秘密を含む競合企業またはサプライヤーの機密情報を取得することを禁じています。合法的で適切な情報源からのみ、入手しなければなりません。AIGの競合他社または競合他社に対して守秘義務を持っていることが分かっている人物から、競争に関係する重要機密情報を取得してはなりません。

他者の企業秘密を不正に取得、開示または使用することは厳禁です。不正に取得した可能性のある機密情報の提供の申し出を受けた場合は、コンプライアンスオフィサーに速やかに報告して下さい。

警告サイン

競合他社の情報を入手する際は、慎重を期してください。
次の行為は禁じられています。

- 前職で得た書類や電子記録を所持すること。
- 前職で得た機密情報について話すように、AIG への転職者に圧力をかけたり促したりすること。
- 「諜報活動」または「スパイ」と解釈される可能性のある行為を通じて、または完全には開示したくないと思うような方法で、情報を入手すること。
- 業務上の情報を正当に入手したものであるとする第三者の主張を正当な理由もなく信頼すること。

業務遂行におけるコミットメント

Q&A

Q: 個人情報の保護に関する法律が対象とするのは、医療情報、社会保障番号、クレジットカード番号および金融機関の口座番号などの機密性の高い個人情報のみですか？

A: いいえ。個人情報の保護に関する法律は、公開情報を含めて、識別可能な個人を特定する、またはこれに関連するすべての情報に適用される可能性があります。例えば、行動やライフスタイル、連絡先詳細、嗜好、インターネットプロトコル（「IP」）アドレス、音声および画像は、こうした情報が識別可能な個人にリンク可能な場合、個人情報の保護に関する法律により保護される個人情報と見なされる場合があります。

Q: 贈答品または接待を受ける正当な業務上の目的とは、何を意味しますか？

A: AIGの社員は、AIGより給与を受け取っており、AIGの利益を最優先して業務を行うことが求められています。正当な業務上の目的を持つ接待の一例には、ビジネス上の問題を話し合い、仕事上の関係を強化するためにビジネスパートナーが提供する昼食などが挙げられます。これに対し、宝石などの身の回りの品を受け取ることは、AIGのビジネス上の利益に貢献しません。このような贈答品は、社員のロイヤルティの低下を招き、送り主に対して便宜を図らなければならないという義務を感じるようになるため、断らなければなりません。

Q: AIGでの業績に役立てるために、前職で得た文書を保管しています。これらの文書は、前の会社で使用していたマーケティング戦略を説明したものです。AIGでこれらの文書を使用することはできますか？

A: 文書に前の会社の機密または非公開情報が含まれている場合、この情報を使用または他者と共有することはできません。AIGでは、すべての社員が、前の会社やその他の第三者から得た機密情報の開示制限または使用制限を守ります。コンプライアンスオフィサーに相談し、判断が下されるまでは情報を使用または他者と共有することはできません。

Q: 私は、新しいソフトウェアソリューションを10万ドルで購入したいと考えています。それは、業界でよく使われている代表的な製品であり、AIGのビジネス目標の達成に役立ちます。契約についてはよくわかりませんが、このソリューションを提供している会社には、承認済みのカテゴリー別リスク評価（CBRA）があることを確認しました。私は、このサプライヤーとの取引を進めることはできますか？

A: いいえ。AIGの社員は、AIGグローバル商品・サービス調達ポリシーを遵守しなければなりません。この価格帯での新規取引や調達には契約が必要です。ベンダーと連絡を取る前に、ソーシングリクエストを通じてGS&PSに依頼する必要があります。契約について不明な点がある場合は、必ずGS&PSに相談してください。

株主に対する コミットメント

株主は、自身の資産をAIGに委ねています。
AIGは、あらゆる業務を確実に行うことで、
株主の資産を守ります。

株主に対するコミットメント

財務・税務報告

株主、ビジネスパートナー、監督当局、アナリストおよび一般の人々は、AIGの経営実績と財務状況を評価し、様々な決断を行うため、AIGの財務報告書と税務記録の正確性を信頼しています。

財務報告書は、真実に基づき、時宜を得た、完全、公正、かつ正確でわかりやすいものでなければなりません。従ってこれらの基準を常に満たすために、権限のある一部の社員のみが社外の関係者に財務報告を提供することができます。

当社は、営業活動を行う国で適用される税法を遵守して税務申告書を提出する必要があり、その内容は正確で完全なものではありません。当社は、適用される税法に違反することを意図する者による、脱税や税務当局への情報隠蔽を含むいかなる活動も行うことはありません。さらに、許可された社員や代理人のみがAIGの税務に関する情報を外部関係者に提供することができます。

正確な業務記録

業務記録は常に、公正で正確に作成されなければなりません。そこに書かれた情報を偽造または改ざんしてはなりません。私たちは、AIGの業務記録を管理する際、不正や詐欺的行為を行ってはいけません。さらに、AIGの経営陣、監査人、監督当局または株主の誤解を招くようなことを行ってはいけません。業務記録には、ハードコピー、電子記録、電子メール、インスタントメッセージ、ビデオおよび電子保存媒体等を含むあらゆる媒体に記録される情報が含まれます。

文書の保存

AIGの社員は常に、[AIGグローバルインフォメーションハンドリングポリシー](#)、およびその他すべての該当する記録および情報管理ポリシー、スタンダード、ガイドライン、および手順を遵守しなければなりません。これらの文書は、ハードコピー、電子記録、電子メール、インスタントメッセージ、ビデオおよび電子保存媒体を含むあらゆる媒体でAIGが作成、受領または保存する、すべての情報の保存および処分に適用されます。

AIGは、AIGの事業および運営にとって重要な価値を持つ情報、および／または法律、規制、あるいは事業保存要件の対象となる情報（「社内記録」）を、適切な保存期間（「保存期間」）として指定された期間中、保持する必要があります。ただし、複製、草稿、一時的な情報、および保存期間を終了した記録は非社内記録であり、文書保存通知の対象になっていない限り処分しなければなりません。

「文書保存通知」（訴訟ホールドと呼ばれることもあります）とは、進行中の訴訟または合理的に予測される訴訟に関連する文書や情報（紙媒体か電子媒体かにかかわらず、また保存場所や管理場所にかかわらず）を保存するようAIG法務部門が社員に命じる通知のことを指します。

文書保存通知を受け取った場合は、保存期間が失効したか否かに関係なく、文書保存通知がもはや有効ではない旨を述べた通知書をAIG法務部門から受け取るまで、指定したカテゴリに入る文書および情報を保存する措置を速やかに講じる必要があります。削除、破棄または別の方法で変更してはなりません。文書保存通知に関する質問は、保存に関する通知を発行した社員に行うべきです。



株主に対するコミットメント

AIGの資産の保護

社員と資産を保護することはAIGの最優先事項です。社内でのグローバルセキュリティ部門の役割は、AIGの社員、顧客、および物理的資産の保護と安全を支援するための原則に基づいています。

建物・什器・備品等

不動産、データ・インフラストラクチャ、設備、備品等のAIGの財産は、不正な使用、破損、盗難、その他の不適切な使用から守らなければなりません。

個人のセキュリティ

グローバルセキュリティ部門は、法執行機関、軍隊、民間企業のセキュリティに携わった経歴を持つ、世界各地に配置された多様な地域のセキュリティチームによる抑止力、検出、対応措置を通じて、AIGの社員、資産、財産に対するリスクを特定し、軽減することに努めています。

同部門のグローバル・セキュリティ・オペレーションズセンター (GSOC) は24時間365日稼働し、AIGが事業を展開しているあらゆる場所で、データの収集と分析を行いながら、安全やセキュリティに関するインシデントに積極的に対応し、出張者への支援も行っています。

社員はセキュリティに関する警戒を怠らず、何か疑わしいことがあれば直ちにグローバルセキュリティ部門に報告する必要があります。社員に対する脅威や職場での暴力の疑いがある場合は、早急に報告することが特に重要です。緊急時には、必要に応じて現地の緊急連絡先に電話をしてください。

出張時のセキュリティ

グローバルセキュリティ部門は、出張する社員を積極的にサポートすることで、適切なリスク緩和措置が講じられていることを確実にします。社員は[AIG経費管理に関するグローバルポリシー](#)を遵守し、AIGの優先オンライン予約ツールまたは旅行手配会社を介して、出張の予約を行う必要があります。これにより、GSOCは社員の出張計画を把握することができ、緊急事態発生時に適切に対応して支援をすることができます。

質問がある場合は、+1 212 458 2020またはgsoc@aig.comまで問い合わせるか、各地域のセキュリティ責任者に連絡して、支援を要請してください。

知的財産

AIGの知的財産には、著作物、プロセス、または発明が含まれる場合がありますが、これらに限定されません。これらは通常、商業的価値があります。AIGの事業に関連する知的財産カテゴリーには、商標およびサービスマーク、著作権、ドメインネーム、特許および企業秘密という5種類があります。私たち一人ひとりが、AIGおよびそのビジネスパートナーに属する知的財産を保護し、第三者の知的財産を尊重する必要があります。

現地の法律に従い、社員はAIGで、またはAIGの専有情報を使用して開発された発明 (特許取得済または未済) をAIGに譲渡するよう求められる場合があります。

私たちのコミットメントの実行

知的財産

- AIGの知的財産を不適切に使用しないこと
- 非公開の知的財産を、承認を得ずに開示しないこと
- 特許、商標、サービスマークまたは著作権を取得したり、必要に応じて他者が取得することを促進したりすることで、AIGの知的財産を保護すること
- 認可なく前職の知的財産を使用しないこと
- ライセンス契約で特に定められている場合を除き、ソフトウェアや文書を使用または複製しないこと AIGは、開発者または流通業者によってソフトウェアに課された使用制限を尊重します。

株主に対するコミットメント

専有情報／企業秘密／機密情報

社員は当社を退職した後、当社で雇用されていた期間にアクセスした、もしくは取得したAIGが所有するいかなる情報、企業秘密、機密情報も利用・開示することはできません。このような情報にはビジネスプラン、顧客情報、ベンダー情報、価格情報、競合他社のデータ、社員情報などが含まれますが、これらに限定されません。

例えば、AIGから退社することを見越して、私用の（AIGが供与しているものではない）電子メールアドレス、コンピュータまたはその他の端末に機密情報を転送してはいけません。いかなる機密情報も、雇用終了日までに返却する必要があります。この規定は、AIGと締結した契約における個別の機密保持条項に従って負う可能性のある守秘義務を補足するものであり、これに取って代わるものではありません。

守秘義務は、AIGとの雇用中または雇用終了後に、行動規範、法律または規制の実際の違反または違反の疑いについて、AIGまたは政府機関に（AIGに通知せずに）提起することを妨げるものではありません。政府機関への苦情の申し立て、政府機関との連絡、情報提供、調査または法的手続きへの参加を制限するものではありません。

警告サイン

AIGの機密情報を保護するために、以下の行為は避けてください。

- 他者にも聞こえるおそれがある状況で機密情報について大声でまたは公然と話すこと。
- AIGの専有情報について、承認を得ないで、かつ機密保持契約を結ぶ前に第三者と話すこと。
- AIGの専有情報について、適切な承認や関連する状況に関する知識なしに、かつ社外秘か否かを確認せずに、顧客やサプライヤーと話すこと。
- 機密情報に関わる草稿やメモを不適切な方法で廃棄すること。

資金

AIGの資金は、AIGの事業遂行のために責任をもって使用されなければなりません。コーポレートカードは、業務経費の支払いのためにのみ使用し、個人的な支出に使用することはできません。社員一人ひとり、AIGの資金を不正使用や盗難から保護し、AIGの資金を支出する場合にはAIGの価値が下がらないような使い方をしなければなりません。経費の請求は、[AIGグローバル経費管理ポリシー](#)に従って、実際に使用しかつ承認を受けた妥当な額の業務経費に限られます。



株主に対するコミットメント

AIGテクノロジー資産

AIGのテクノロジー資産およびそれらを通じてアクセス可能な情報は、AIGの貴重な資産です。私たち一人ひとり、AIGのテクノロジー資産（資産がAIGのオフィス、自宅またはその他の場所のいずれで使用されているかを問いません）およびそこに保存されている情報を、不正アクセス、破損または盗難から保護し、該当するすべてのAIGのポリシーに従う責任があります。AIGのテクノロジー資産を使用するときには、適切な判断をすること、そしてAIGのテクノロジー資産を倫理的に正しい業務を行うために使用することが期待されています。

AIGテクノロジー資産とは、(1) AIGが提供または承認するコンピュータ、コンピュータネットワーク、コンピュータアプリケーション、画像デバイス、ストレージデバイスやメディア、モバイルコンピューティングデバイスまたはその他の情報技術ハードウェアもしくはソフトウェア、ならびに(2) 電話（携帯電話を含む）、AIGネットワーク経由のインターネットアクセス、有線テレビおよび建物入退出管理システムなどの企業情報テクノロジー資産を意味し、いずれの場合も、かかるリソースに含まれるデータ、情報、ファイル、および／または記録を含みます。AIGテクノロジー資産の例には次のものが含まれますが、これらに限定されません。

- デスクトップパソコン、ノートパソコン、Wyse端末
- AIGが提供または承認したソフトウェアアプリケーション
- AIGが提供または承認した携帯電話、またはAIGのBYODプログラムに登録済みの私有携帯電話に存するAIG関連のコンテンツ
- AIGが提供または承認したタブレット（iPad、Microsoft Surface タブレットなど）、またはAIGのBring Your Own Device（「BYOD」）プログラムに登録した私有タブレットに存するAIG関連のコンテンツ
- OneDriveおよびSharePoint
- ボイスメール、電子メール、SMS、テキストまたはインスタントメッセージサービスおよびメッセージ
- イン트라ネット（Connect）およびイントラネット
- 文書、ワークシート、およびその他のデータ、情報、ファイル、および／または記録

社員がAIGのための業務にあたる場合、AIGのテクノロジー資産だけを使用しなければなりません。また、AIGのテクノロジー資産は、主にAIGの正当な業務目的のためだけに使用されなければなりません。疑義を避けるため、AIG以外の電子メッセージアカウントおよびボイスメールボックスをAIG関連の業務連絡のために使用してはなりません。AIGポリシー、適用される法、または労働契約で禁じられていない限り、業務効率を低下させたり、AIGのテクノロジー資産の動作に著しい負荷をかけたり、AIGポリシー・ガイドライン・スタンダードや法令に違反したり、AIGに追加のリスクをもたらさない場合は、社員によるAIGのテクノロジー資産の頻繁でない適切な個人的使用（限られた回数での個人的な電話の受発信など）は認められる可能性があります。

AIGのテクノロジー資産は、以下を目的として使用してはなりません。

- (1) 敵意、悪意、非合法、わいせつ、差別、嫌がらせ、脅迫、冒涇、侮辱、軽蔑などを示す情報を作成、保存、送信すること。
- (2) 上記と同様のコンテンツを含むインターネットウェブサイトまたはその他のオンラインサービスに意図的にアクセスすること。
- (3) オンラインプラットフォームにアクセスしてAIGの企業情報をアップロード、提供またはその他の方法で使用すること。ただし、対象となるプラットフォームが、AIGのポリシーやスタンダードによって義務付けられる技術、法務、コンプライアンスなどのデューデリジェンスプロセスを経て承認されている場合はこの限りではありません。
- (4) 第三者の知的財産（ソフトウェア、動画、音楽、画像など）をアップロードまたはダウンロードすること。ただし、AIGが当該コンテンツについて適切な権利を有する場合はこの限りではありません。
- (5) AIGが関連しない業務または個人的な政治活動を行うこと。

株主に対するコミットメント

Q&A

Q: 財務状況に間違いがあると思います。この情報は、公開される情報の中に含まれることになっています。このような場合、私はどうしたらよいですか？

A: この問題に対応できる権限を持つ人に知らせることが重要です。この間違いは深刻な問題になるおそれがあります。社員には、適切な人に直ちに報告する責任があります。不明な場合は、上司、コンプライアンスオフィサー、またはコンプライアンス・ヘルプライン(+1-877-244-2210)に連絡するか、会計ホットライン(accountinghotline@aig.com)まで電子メールで連絡してください。

Q: 上司から、3万米ドル相当のサービスの発注書を作成するように依頼されました。上司の決裁権限は2万5千米ドルまでです。さらに上の上司の決裁権限を得なくても済むように、発注書を2枚に分割してもよいでしょうか？

A: いいえ、分割してはなりません。適切な承認を得ていないことは、適切な内部会計統制が維持され、効果的に運用されるように設計されているAIGのポリシーに違反します。上司に話しにくい場合は、所定のコンプライアンスオフィサーに連絡してください。

Q: ホテルの会議室で、AIGの他の数名の管理職者と会議に出席していました。昼食時に全員がラップトップを、施錠されていない会議室に残して出ていきました。不安は感じましたが、私も同じようにしました。何らかの措置を講じるべきだったでしょうか？

A: はい、この状況には別な方法で対処するべきでした。ラップトップやその中にある情報はAIGの財産であり、AIGの会社情報が含まれていることも少なくありません。あなたは、紛失、盗難、不注意による情報漏洩が発生しないように機器や情報を守らなければいけません。あなたと同僚は、機器または会議室のセキュリティを確保するか、誰かを機器のある場所に残すべきでした。

Q: あるベンダーの社員が、AIGのネットワークに自由にアクセスできていることを知りました。彼らが業務を遂行する上で、こうしたアクセス権限の付与は不要だと思います。AIGの企業情報が危険に晒されてはいないでしょうか？私はどうするべきでしょうか？

A: あなたの懸念は正しいかもしれませんが、すべての情報を把握していないことも考えられます。したがって、まずこの状況を上司に相談してください。さらに措置が必要な場合は、あなたもしくは上司が所定のコンプライアンスオフィサーに連絡して下さい。

企業市民としての コミットメント

AIGは当社の商品、サービスおよび責任ある商慣行を通して、私たちが働き、生活をし、顧客にサービスを提供する地域社会の向上のために尽力します。AIGは私たちのビジネスに適用される法規制を遵守します。

企業市民としてのコミットメント

環境保全とビジネスの両立

AIGが持続可能性（サステナビリティ）にコミットメントすることで、経済成長を可能にしつつ、社会的および環境的な課題に対応した将来性ある地域社会の実現を支援します。私たちの存在意義と価値観に基づき、私たちは、2050年またはそれよりも早い時期に、引受ポートフォリオ、投資ポートフォリオ、および当社の企業運営において、ネット・ゼロ・エミッションを達成することを含め、持続可能性に関するコミットメントを実現するために、総合的なアプローチを採用することを目指しています。当社のアプローチは当社のビジネス戦略に沿っており、投資家、規制当局、顧客、販売パートナー、サプライヤーおよび社員を含む多くの主要なステークホルダーの期待に応えるものとなっています。

AIGの社員持続可能性ネットワークを通じて、社員はAIGのより広範な持続可能性アジェンダをサポートし、より地域的な草の根レベルでのイニシアチブ（戦略）に参加することができます。このネットワークは、社員がグローバルな持続可能性と気候変動に関する取り組みの最新情報入手し、同じ志を持つ世界中の同僚とつながるためのフォーラムを提供します。

AIGは、グローバルな保険会社として、リスクに関する専門知識とデータに基づいた理念を活用して、温室効果ガスの排出を軽減し、顧客や地域社会が低炭素経済へ移行するのを支援します。

AIGの持続可能性の取り組みに関する詳細については、[AIG環境保全とビジネスの両立](#)のウェブサイトをご覧ください。

グローバル・コーポレート・シチズンシップ

AIGは、従業員のスキル、経験、知識、および熱意を活用するプログラムやパートナーシップを通じて、私たちがサービスを提供している地域社会に貢献することに全力で取り組んでいます。

AIGボランティア休暇プログラムを通じて、AIGの社員は、学校を含む非営利／慈善団体においてボランティア活動を行うために、1年あたり最大で16時間（1時間単位）の休暇を取ることができます。また、AIGは、AIGマッチング・グラント・プログラムを通じて社員の善意をサポートすることに誇りを持っています。AIGは、資格のある社員および／またはその配偶者／パートナーが適格な組織に対して行った寄付について、2:1の比率で1年あたり10,000ドルのマッチング寄付を行います。

AIG思いやり同僚基金（以下「基金」という）は、社員が不測の経済状況による経済的苦境を克服できるよう、対象となる出来事や出費を救済するものです。当基金への社員からの寄付は、マッチンググラントプログラムによるマッチングの対象となります。

AIGは、地域のパートナーシップと地域社会への投資に真剣に取り組んでおり、非営利団体との協力関係の広がり、社員の多様性を反映しています。AIGは、グローバルな非営利パートナーがそのミッションを推進するのを支援するとともに、社員と公益セクターを結び付けています。現時点では、AIGは予定外の助成金の提案は受け付けておりません。

こうしたプログラムに参加したり、AIGの代表として寄付を行ったりするすべての社員は、プログラムガイドラインおよびAIG社員ハンドブックに規定された要件を理解し、それらを遵守していることを宣誓する責任があります。AIGは社員の慈善活動を個人的および私的な活動として捉えています。そのため、ボランティア活動や寄付を行ったり、またはマッチング・グラント・プログラムを活用したりするよう社員に圧力をかけるようなことがあってはいけません。こうしたプログラムに関する質問は、AIGのグローバル・コーポレート・シチズンシップ部門まで送ってください。グローバル・コーポレート・シチズンシップ・ポリシー、スタンダード、ガイドライン、手順は、AIGブランドに最善の利益をもたらす基準を維持し、社員に有意義な社会的インパクトを与える機会を提供するために、全社員に適用されます。

AIGのコーポレート・シチズンシップの取り組みの詳細については、[AIGコーポレート・シチズンシップ](#)のウェブサイトをご覧ください。



企業市民としてのコミットメント

政治活動

法人としての政治活動、ロビーイングおよび献金を統括する法律や規制は複雑なものです。AIGのガバメント・アフェアーズ・グループ（米国連邦政府、州政府および米国外の規制当局対応担当）は、AIGの活動が許可されていること、さらにAIGの事業戦略と一致していることを確実にします。政治活動の制限の詳細については、「[AIGロビーイングおよび政治活動に関するポリシー](#)」に記載されています。

- 本ポリシーに規定の通り、当該のガバメント・アフェアーズ・グループまたは法務部門からの事前の許可および調整なしで、いかなる社員もAIGを代表して、選出または指名された公務員と政治活動またはロビーイングに関連して、連絡を取るべきではありません。
- 適切なガバメント・アフェアーズ・グループに最初に相談することなく、政治目的でAIGの資金または資産を決して使用してはなりません。
- 承認を受けた代表者のみが、AIGを代表して公職への立候補者に企業献金を行うことができます。

個人的な政治活動または政治的関心から、AIGでの責任と対立したり、AIGの支援をほのめかしたりしてはなりません。社員は、自発的な政治活動においてAIGの名前を使用して後援または支援をほのめかしてはならず、また、法律によって許可されている以外の方法で、会社のリソースを使用してはなりません。公職の候補になることを検討しているAIG社員は、まず、AIGのチーフコンプライアンスオフィサーから書面による承認を得る必要があります、AIGを雇用者として識別する以外の目的でAIGの名前を使用するべきではありません。

証券の取引

AIGの業務遂行において、社員は、AIGまたはその他の企業に関する重要な公開前の情報に接することがよくあります。

重大な非公開情報を知りながら有価証券取引を行うこと、またはこの情報を他者に知らせること（「ティッピング」）は、AIGポリシーに反するとともに法律違反にもあたります。

AIGおよびその他の企業の証券取引に対する制限は、[AIGインサイダー取引に関するグローバルポリシー](#)（社員全員およびその親族に適用される）で詳述しています。一般的には、

- AIGに関する重大な非公開情報を知りながら、AIGの有価証券の売買あるいは取引をすることはできません。
- AIGとの雇用期間中に、ある企業に関する重大な非公開情報を知ることになった場合は、直接か間接かを問わず、その企業の有価証券の売買はできません。
- AIGまたは他の事業体に関する重大な非公開または機密情報を知っている場合、またはAIGとの雇用期間中にそのような情報を知り得た場合は、その情報を他者に伝えたり（「ティッピング」）、AIGまたはその企業の有価証券の売買を他者に勧めたりすることはできません。

以下を行うことは、社員全員およびその近親者に禁じられています。

- AIGの有価証券を利用したヘッジファンド取引
- AIGの有価証券の「空売り」
- AIGの有価証券に関連する「プット・オプション」または「コール・オプション」、先物契約、エクイティスワップまたはカラーなどのデリバティブ証券の取引
- マージンデット、貸付、またはその他の与信拡張を支援するため、AIGの有価証券を使用する
- AIGの有価証券を担保にする

[AIGインサイダー取引に関するグローバルポリシー](#)に定める「責任者」および「アクセス・パーソン」である社員に対しては、追加の制限が課せられます。

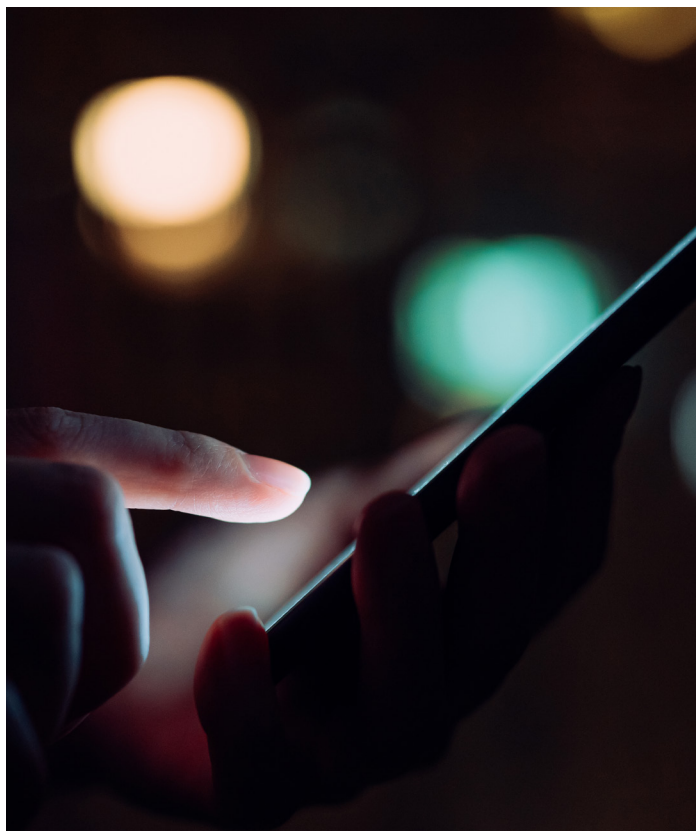
証券取引を行う前に、[AIGインサイダー取引に関するグローバルポリシー](#)を参照して、ポリシーに基づき取引が認められるかどうかを判断してください。さらに、特定のAIGの子会社の社員は、個人的な証券取引に関し、事前承認および報告義務を含む、その他インサイダー取引に関するポリシーの対象となる場合があります。

上記の[AIGインサイダー取引に関するグローバルポリシー](#)または規則、制限についての質問は、AIGtradingpreapproval@aig.comまでお問い合わせください。

企業市民としてのコミットメント

マネー・ローンダリングの防止

AIGでは、マネー・ローンダリングおよびテロリストへの資金供与を防止することに全力で取り組んでいます。そのために顧客の本人確認を行うと共に、現地法に基づいて疑わしい取引を報告しています。社員は、AIGおよび各社のマネー・ローンダリング防止に関するポリシーを遵守しなければなりません。疑わしい活動には、早期対応が必要です。疑わしい取引のおそれがある場合は、速やかに上司またはコンプライアンスオフィサーに連絡してください。詳細な情報については、[AIGマネー・ローンダリング防止に関するグローバルポリシー](#)をご覧ください。



経済制裁、反ボイコット法および輸出規制に関する法律

AIGの社員は、米国およびその他の経済制裁プログラムを遵守し、

- (1) 特定の個人または組織（グローバルテロリズム、兵器拡散または麻薬の不法取引を含む特定の活動に関与または関連している）
- (2) 特定の国やその政府（その国のエージェントとして従事する個人、組織および政府所有団体を含む）の他、こうした国の国籍を持つ人物や民間団体
- (3) 一人または複数の制裁対象者が直接的または間接的に50%以上の株式を保有する団体。第三者がこれらの禁止事項の対象になるかどうか不明な場合は、コンプライアンスオフィサーに相談してください。制裁を受けたと確認された当事者に関する問題、または職員が確信を持っていない場合は、コーポレート・コンプライアンスの金融犯罪グループ（「FCG」）に照会する必要があります。

AIGはグローバル企業として、複数の司法管轄区の経済制裁法または禁輸規制に関する法に従うことが求められる場合があります。各国の法律は整合性が取れていないため、そのような場合は、FCGに相談することが重要です。

AIGの社員は、米国政府が支援していないボイコットに参加することを禁じられています。ボイコットへの参加、またはボイコットの促進に利用される可能性のある情報の提供を求められた場合は、コンプライアンスオフィサーに速やかに報告してください。

AIGの社員は、輸出規制に関する法律も遵守しなければなりません。輸出または再輸出、あるいはそのような輸出または再輸出のための保険の適用が規制または禁止の対象であるかどうかを判断するには、コンプライアンスオフィサーに相談してください。

詳細な情報については、[AIG経済制裁に関するグローバルポリシー](#)、[AIG反ボイコットに関するグローバルポリシー](#)、[AIG輸出規制に関するグローバルポリシー](#)をご覧ください。

企業市民としてのコミットメント

社外とのコミュニケーション

AIGを代表して発言できるのは、その権限を持つ社員に限定されます。発言の内容は欠けるところがなく、公平、正確で、時宜を得たわかりやすいものである必要があります。マスコミからの要請はすべて、AIGのコーポレート・コミュニケーションズ部門または該当の事業部門を担当しているコミュニケーションチームが対応します。AIGの許可なく、社員が声明を述べたりマスコミからの質問に回答したりすることは認められません。

証券会社、アナリスト、投資マネージャー、その他の証券市場の専門家およびAIG証券の保有者からの問い合わせはすべて、AIGのコーポレート・インベスター・リレーションズ部門が対応します。

社外とのコミュニケーションにおいて、AIGに関する重大な非公開情報が誤って開示された場合は、速やかに公開を行えるように、AIGのジェネラル・カウンシルに直ちに通知しなければなりません。

AIGを代表して社会とコミュニケーションを行う場合、すべてのAIGの事業部門と社員は、情報およびサービスのアクセシビリティを考慮しなければなりません。これには、ウェブサイト、フォーム、またはその他の通信デバイスを通じて提供される情報が含まれますが、これらに限定されません。1990年米国障害者法を含む、該当する国、州、および地域のアクセシビリティに関する法に準拠することにより、このポリシーを確実に遵守することは、各国市場、AIG事業部門、および管理部門の義務です。

監督当局および官公庁職員とのコミュニケーション

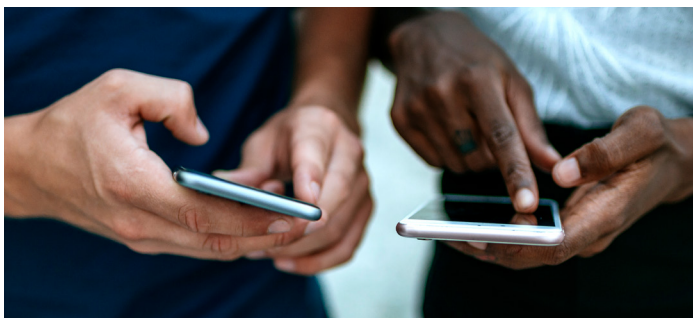
AIGと規制当局との通常のコミュニケーション以外で、規制当局や公務員から照会を受けた場合は、回答する前に、GLCR (Global Legal Compliance & Regulatory representativesの略) の担当者 (コンプライアンスオフィサー、事業部門の弁護士、または当局対応グループ) に速やかに報告する必要があります。当局への対応は、事実に基づいた正確で完全な情報を回答しなければなりません。当局の検査または調査において、文書を隠匿、破棄または改ざんしたり、当局に対して虚偽または誤解を招く発言をしたりしてはなりません。

ソーシャルメディア

ソーシャルメディアの使用は、AIGの評判に影響を与える可能性があります。ユーザー同士の相互のやりとりを実現するソーシャルメディアまたはウェブサイトおよびオンラインツールは、AIGの機密情報または非公開情報の公開や、会社、社員・顧客に対する不法な嫌がらせ、脅迫、中傷、差別的なコメントの伝送、または現地法、州法、連邦法または自主規制機関の規則に対する違反につながる場合があります。AIGのITシステムから一部のソーシャルメディアサイトにアクセスすることはできませんが、AIGは、業務中および業務外の両方でのソーシャルメディアの使用に利害関係があります。AIGを代表して話すよう経営陣からはっきりと許可されていない限り、ソーシャルメディアを使用する際は、表明した見方があなた自身のものであることを明確に伝え、いかなる場合であってもAIGを代表して話しているという印象を抱かせてはなりません。ソーシャルメディアの使用またはその使用を管理する[ポリシー](#)または[ガイドライン](#)に関する質問は、所定のコンプライアンスオフィサー、AIGコーポレート・コミュニケーション部門、またはグローバルエンプロイヤーリレーションズ部門に送ってください。

官公庁との取引

政府と事業を行う場合は、商業市場での事業とは違ったリスクがあります。国際機関、連邦機関、州機関および現地機関との契約に関連した法律は、通常より厳格で複雑です。商業的環境では容認できる特定の行為や実践でも、公共部門では禁じられる場合があります。そのため、政府機関との取引に関して決定を行う前に、経営陣またはコンプライアンスオフィサーと相談するべきです。



企業市民としてのコミットメント



不正慣行および贈賄の防止

AIGは、不適切な手段を使って、相手方のビジネス上の判断に悪影響を与えてはなりません。AIGを代表して行動するいかなる社員、代理店または第三者も、ビジネスや不公平な便宜を獲得または維持するために、賄賂またはその他の不適切な利益を提供してはいけません。

ビジネスを獲得または維持したり、不適切な便宜を得るために、公務員に何らかの価値あるものを支払ったりその約束をしたりしてはなりません。この場合の公務員とは、すべてが部分的かを問わず、官公庁が管理または所有している企業の社員を含む場合があります。

腐敗行為防止に関する法律は、不正確なまたは虚偽の会計帳簿や企業記録の作成も禁じており、企業は、資産および会計に関する適切な管理を維持しなければなりません。所在地を問わず、AIGの役職員は、所在地の腐敗防止法に加えて、米国の海外腐敗行為防止法を遵守しなければなりません。

これらの法律、規制、ポリシーの違反について知っている、あるいは善意でその疑いを持った社員は、コンプライアンスオフィサーに速やかに報告しなければなりません。このトピックに関する詳細については、[AIG不正ビジネス慣行防止に関するグローバルポリシー](#)をご覧ください。

企業市民としてのコミットメント

Q&A

Q: 4週間後に公表される予定の新商品のために新しいサプライヤーを起用すると上司から聞きました。このサプライヤーに投資することは、非常に良いと思われます。他の人たちにも知らせて良いのでしょうか？

A: いいえ。この種の情報は、重大な非公開情報であると見なされます。このサプライヤーが新商品に関わるという情報を持ちながら取引を行うことはできません。

Q: 報道機関からAIGの業績見通しについてコメントを求められた場合、自分の意見であることを言明すれば意見を述べてもよいのでしょうか？

A: いいえ。AIGコーポレート・コミュニケーション部門から事前承認がない限り、個人的な意見も含め、一切コメントしてはいけません。報道機関から情報を求められた場合は、問い合わせ内容についてコメントせずに、直ちにコーポレート・コミュニケーション部門に連絡してください。

Q: ある国有企業の幹部は、現地の慈善団体に寄付すれば、その国での販売活動は好意的に受け入れられるようになるだろうと示唆しました。私はあまりいい気分がしません。私はどうすべきでしょうか？

A: いい気分がしなくて当然です。この支払いは、海外腐敗行為防止法に違反するおそれがあります。コンプライアンスオフィサーに相談してください。



AIG行動規範は雇用契約ではありません。この行動規範に記載されている内容は、いかなる種類の約束でもなく、賃金やその他の労働条件に関する契約を結ぶものと解釈されません。AIGの社員には、雇用契約書の定めに従って、いかなる理由であれ、いつでも雇用関係を解除する無条件の権利があります。同様に、AIGには、適用法および雇用協定に従って、問題や事前の警告の有無に関係なく、社員を解雇または懲戒処分にする権利があります。

社員は、AIGのイントラネット上でAIGコーポレートポリシーを参照することができます。